

バイオサイエンス特別実験 (8単位)

担当者氏名 林 隆久・喜田 聡・河野友宏・坂田洋一・新村洋一・矢嶋俊介・吉川博文・川崎信治・
千葉櫻 拓・梅澤明弘・齊藤英和・田中良明・秦 健一郎・河久津英憲・宮戸健二

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

見識と実力、さらに健全で調和のとれた人間性を有する研究者あるいは高度専門技術者となるため、研究課題を設定し、研究計画を立案するとともに、技術や研究手法を修得し、研究を実施し、その結果をとりまとめて公表する。バイオサイエンスに関わる研究の意義を理解し、立案から遂行、発表までを独立した研究者あるいは高度な専門家として実施、さらには、指導者としての見識と実力を得る。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

分子生物学 生化学 細胞生物学 有機化学
実験計画法 農芸化学

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	準備学習(予習復習)等の 内容と分量
1	修士実験の意味と意義	修士実験の意味、修士が社会に果たす役割を学ぶ	事前に指導教授と打ち合わせ。
2	修士論文研究の進め方	博士前期課程における研究の進め方について学ぶ	先輩の修論を読む。
3	研究計画の立案	修士論文に関わる研究計画を設定する方法を学ぶ	概略を記し持参する。
4	既往研究の整理	既往の研究をとりまとめ、研究課題を明らかにする	学術文献の収集・読破。
5	研究計画発表	研究計画に必要な修正を加える方法を学ぶ	プレゼンの準備。
6	関係論文の探索	複数の論文を読み、その内容をとりまとめる	関連文献のリスト化。
7	関連研究のケース スタディ	複数の論文を読み、自身の計画を修正・補足する	関連文献の修正・補足。
8	実験方法のケース スタディ	関連する実験方法の論文を読み、方法を定める	関連文献の修正・補足。
9	研究意義の明確化	期待される研究成果を明確にする	研究インパクト考察。
10	中間発表(目的・意義・ 実験)	研究の方向や進捗状況を評価する方法を学ぶ	ディベート準備練習。
11	学外研究者による セミナー	先端情報の取得と、専門分野の知識を学ぶ	研究者の論文を読む。
12	海外研究者による セミナー	先端情報の取得と、専門分野の英語を学ぶ	研究者の論文を読む。
13	研究成果の整理	準備を開始するプロセスを学ぶ	要旨と研究成果考察。
14	プレゼンの準備法	分かり易い研究成果の示し方を学ぶ	高度なプレゼン準備。
15	修士論文発表	本人発表会の質疑から、修士論文の完成方法を学ぶ	ディベート経験。

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)
関連論文・総説を読む。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)
関連論文・総説を読む。

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

研究成果と中間発表会・修士論文発表会での採点。

◆オフィスアワー

毎昼休み時間 (12:20~13:00)

◆その他受講上の注意事項

特になし